

入選

水と関わる

高岡市立牧野中学校 二年 蓮澤 ありさ

水は、生き物にとって絶対に欠かせないものであり、命の源である。しかし、災害を起こすこともあり、命を奪ってしまうこともある。

二〇一九年私が小学校四年生だった時に理科の授業でひまわりを育てた。日当たりがとて良い校庭のはじめに花壇があつてそこにひまわりは植えられていた。日直が水をやる制度だったので私の番は月に一度ほどだった。花壇から少し離れたところにある水場の蛇口をひねり、冷たい水をたっぷりじょうろに入れた。とても重くて花壇まで運ぶのは大変だったけれど、水をたっぷり浴びて、溶けそうな真夏の日差しの中でも負けずに成長しているひまわりの姿に元気がもたらえた。それから月日は流れ、暑い真夏の時期が過ぎ、十月に悲劇はやってきた。台風一九号が襲ってきた。猛烈な強風と大雨により、ひまわりのくきが数本折れ、葉はしわしわにしおれてしまったのだ。あんなに元気だったひまわりが痛々しい姿になつてのを見て胸が苦しくなつた。それでも耐え、種を実らせ、子孫を残していったひまわりは立派で素晴らしかったと思う。

水は生き物が生きていくには絶対に欠かせないものだが、その反面、台風や土砂災害、洪水などの命にかかわる水災害を起こすことがある。では、そんな水と私たちはどのように関わっていけばよいのだろうか。一度、家族で黒部ダムへ行つたことがあつた。約一八〇メートルもある崖のような高いたかい壁から勢よく噴き出す水は、今も目に焼き付いている。そしてその横では湖のように大量の水が蓄えられている。私はダムが一体どんな役割をしていて、これらの施設がなぜあるのかを調べてみることにした。

ダムには大きく分けて二つの役割がある。一つは大雨の時などに洪水をダムのために一気に川に流れることを防ぎ、洪水や土砂災害にならないようにする役割。もう一つはそのためた水を放水し、そして水道

水などに活用する役割をしている。つまり、ダムは水の調節係なのだ。さらにダムでは水力発電も行われている。ためた水を高いところから落とし、水車を回して、それにつながっている発電機を回転させることで発電する方法だ。だから、黒部ダムは水害が起こらないように雨を湖のようにため、私たちが毎日安定した量の水が飲めるように放水をし、そしてなるべく高いところから水を落として発電していたのだと理解した。陰で毎日私たちの生活を支えてくれていたのだと知り、ダムはありがたい存在だと思つた。

そして、もつと水の力を利用してはどうかと思うようになった。「今、電気代が値上がりし、市民からの不満が高まっている。」と講評されているニュースを見た。電気代が値上がりした理由をネットで調べてみた。原子力発電の資源が足りないことが原因らしい。資源には限りがある。だが、水はどうだ。再生が可能なエネルギーだ。もつと水を利用すればよいと私は思う。災害になる前に、その災害になりえる自然のパワーを資源の代わりに活かせたらと考える。そして、そんな未来になることを私は願っている。